



ハートフルなんぶ

2024. 5月号 vol. 302



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

新任職員紹介

4月に新任職員を3名迎えました。

4月から南部図書館に配属となりました青木と申します。図書館業務に携わるのは初めてですが、精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。

4月より働かせていただいております荘田と申します。図書館のお仕事は初めてなので、不慣れな点があるかと思いますが、早く慣れて皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4月から図書館に配属となりました三井です。これを機に今まで以上、本に親しみをもちたいと思います。地域密着型な移動図書館車での仕事が主になります。不慣れではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

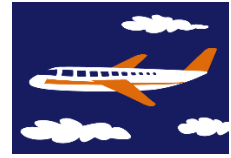
新刊案内

- ・『暗殺』 赤川 次郎／著 新潮社 <Fア>
- ・『錠剤F』 井上 荒野／著 集英社 <Fイ>
- ・『ミノタウロス現象』 潮谷 験／著 KADOKAWA <Fシ>
- ・『北辰の門』 馳 星周／著 中央公論新社 <Fハ>
- ・『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈／著 新潮社 <Fミ>
- ・『二人キリ』 村山 由佳／著 集英社 <Fム>
- ・『シャーロック・ホームズの凱旋』 森見 登美彦／著 中央公論新社 <Fモ>
- ・『風に立つ』 柚月 裕子／著 中央公論新社 <Fユ>
- ・『夜明けの花園』 恩田 陸／著 講談社 <Fオ>
- ・『老いの上機嫌』 樋口 恵子／著 中央公論新社 <367ヒ>
- ・『世界で1番かわいいお菓子』 こぐまいたん／著 ワニブックス <596コ>
- ・『日々の名作音読で人生の深みを知る』 寺田 理恵子／著 さくら舎 <809テ>
- ・『神武天皇の歴史学』 外池 昇／著 講談社 <288シ>
- ・『るるぶ日本遺産』 JTB パブリッシング <291.09ル>
- ・『図解でよくわかる菌ちゃん農法』 吉田 俊道／著 家の光協会 <626ヨ>
- ・『筋肉がよろこぶレシピBOOK』 長谷川 北斗／著 <596ハ>



5月のテーマ「旅」

- ・『スモールワールドズ』 一穂 ミチ／著 講談社《Fイ》・『正欲』 朝井リョウ／著 新潮社 《Fア》
- ・『大人のゆったり旅』 柳沢 小実／著 大和書房 《290.9ヤ》
- ・『ときどき旅に出るカフェ』 近藤 史恵／著 双葉社 《Fコ》
- ・『失恋バスは謎だらけ』 森沢 明夫／著 双葉社 《Fモ》
- ・『作家の愛したホテル』 伊集院 静／著 日経BP社 《915.6イ》
- ・『車のおうちで旅をする』 いとう みゆき／著 KADOKAWA 《297イ》
- ・『時代劇聖地巡礼』 春日 太一／著 ミシマ社 《778カ》



寄稿：夕焼けざくろ

Essay

「旅は世界を変える」

昨年の秋に家族で親戚の結婚式に呼ばれた。場所は沖縄。私たち家族は本格的な旅行は皆無で、旅慣れていない。そんな遠くまでどうやって、とイメージが全く湧かなかった。しばらく返事を保留にしておいた。家族と相談して、こんな機会は二度とないかもしれないから、お祝いに便乗して4人で行ってしまおう！という結論に至った。

私の好きな元 APU 学長の出口治明氏が“人は旅をしてアンコンフォートゾーンへ学びに行くだけではなく、移動は歴史上、実は世界を変えることにもつながる”と言っていたのを思い出し、世界を変える、そんな旅にしたいと強く願った。

旅はスタートから波乱を含んでいた。羽田へ向かう首都高の渋滞にはまり5時間以上かかり、下の子がメガネを、夫が大事な度入りサングラスを忘れ、さらにフライトは1時間以上遅延、1時間待って乗り込んだタクシーのおじいは私たち4人の体が45度に傾くほどスピードをだした。午前1時。まだ旅は2日目、もう散々だった。旅に慣れている人達にとっては、なんてことないのかもしれない。翌日、感動の結婚式は終わり、親戚たちと珍道中の話で笑い話になった。

ゲストハウスのご夫婦にお勧めされて、沖縄最北端にある大石林山に行くことにした。北部の沖縄戦はどうだったんだろうと、気になりスマホで調べてみた。北部では敗戦後、米海軍が村を統括していた。日本の敗残兵も南部から逃れ、山の多い北部の山に潜伏していた。地元住民と米軍、そして日本兵との複雑な関係から悲劇が起きてしまった。ある日、情報の誤認や互いの疑心暗鬼から、地元住民に米軍のスパイ容疑がかけられた。日本軍の兵士が軍刀で容疑のかかった民間人を次々と虐殺してしまう、という事件を見つけた。衝撃だった。虐殺、というパワーワードだけでなく、本当かどうかわからない情報で、人を殺めてしまうなんてと。

北部の歴史的背景を知り、情報の正確性を評価する能力、つまり情報リテラシーの重要性を改めて認識した。誤情報が引き起こす悲劇は、現代でも緊急時に起こり得ることだ。情報リテラシーは、子供から大人まで、どんな状況下でもいまや必須の教養だ。その情報は誰が発信しているものなのか。少し立ち止まることが重要だ。

2024年5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2024年6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

開館時間：午前10時～午後6時

■ は休館日です

6月25日(火)～7月9日(火)は蔵書点検のため、休館いたします。

南部図書館
開館カレンダー

